

岡山リサーチパーク インキュベーションセンター

入居のしおり

令和 5 年 7 月 1 日改定版

大林 F・合人社・岡経研共同事業体

■序章

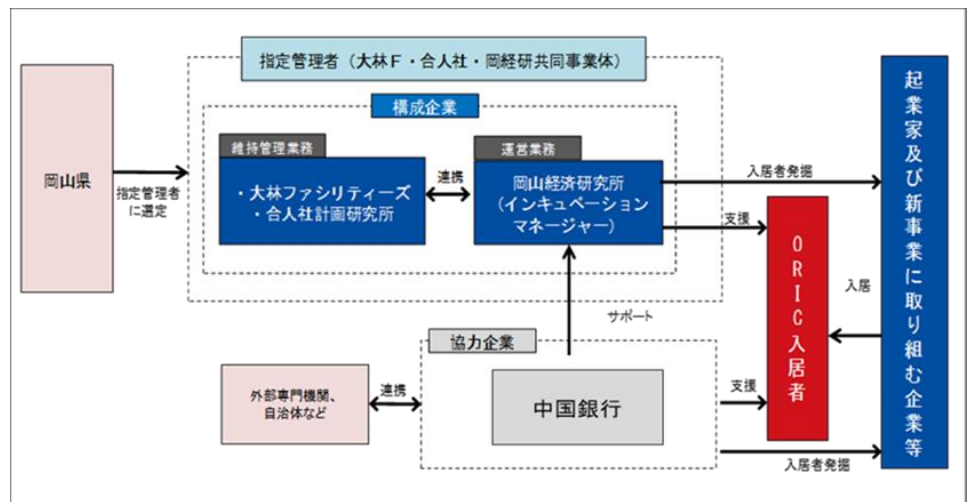
1. 施設について

この施設は、平成 15 年度に岡山県が開設し、民間事業者が管理運営するインキュベーションセンターです。

管理運営は、PFI 岡山インキュベート株式会社が平成 29 年度まで行い、平成 30 年度から大林 F・合人社・岡経研共同事業体が行っています。

民間事業者が管理運営していますが、公共施設（公の施設）ですので、関連条例等に基づき、指定管理者が一定期間の使用を許可することとしています。

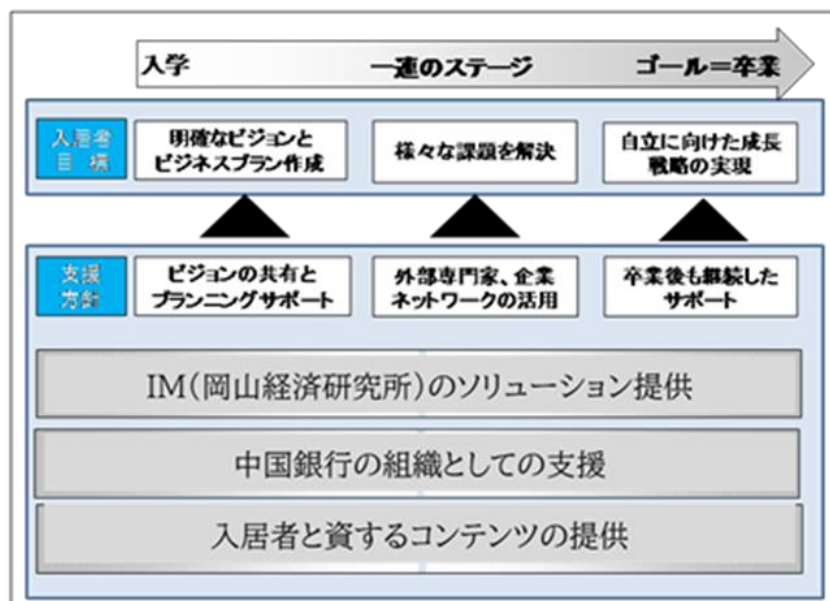
＜事業構成図＞



2. 管理運営の基本方針

指定管理者である大林 F・合人社・岡経研共同事業体は、「民間ノウハウと経験・実績で、活力ある IT・ものづくりベンチャーを育成」することを基本方針とし、構成企業及び協力企業の力を結集し、県や各種機関と緊密に連携をとりながら、きめ細かなベンチャー支援や効率的な施設管理を行います。

＜支援イメージ＞



■入居に要する 費用・経費

1. 施設の利用料金

各研究室等の利用料金は、次のとおりです。別途減免措置もありますので支援スタッフに相談してください。

○施設利用料金

施 設	利用料金 (1 室・月額)
研究室 (大)	92,180 円
研究室 (小)	47,130 円
試作開発室	183,330 円

施設利用料金は毎月、口座振替によりお支払いいただきます。なお、利用状況に関わらず、使用許可期間中の利用料金が発生します。

【備考】利用期間が単位未満であるときまたは利用期間に単位未満の端数があるときは、その単位未満を一単位として計算する。

入居者は、次の施設を無料で利用できます。

- ・交流サロン・共用室 ※要利用申請
- ・談話コーナー
- ・共用シャワー室
- ・給湯室
- ・駐車場 ※要利用申請

入居者は、新規入居時に実費負担金として、次の金額を負担していただきます。

①預かり金

研究室 (大)	92,180 円
研究室 (小)	47,130 円
試作開発室	183,330 円

②ORIC 入会費 10,000 円

2. 公共料金等の取扱い

研究室内の電気使用料・水道使用料は、支援スタッフルーム内の中央監視盤により検針し、入居者に請求します。ガス、電話は入居者と提供会社との直接契約になります。以下に各使用料の計算例を示しますが、基本料金や料金単価につきましては変動することがありますのでお含みおき下さい。

(1) 電気使用料 (税別)

研究室の標準受電容量に応じた月額基本料金と使用量分 (電力量単価 (単価 27.5 円/kWh、R5.6.1 現在) + 燃料費調整額 (中国電力からの請求単価に準じて変動) + 再エネ発電賦課金 (中国電力からの請求単価に準じて変動)) を合算した金額を請求します。(R5.6.1 現在 21.8 円/kWh)

研究室タイプによる料金表は次のとおりです。

(三相の電源を使用しない場合。条件により異なる場合がありますので支援スタッフに問い合わせください。)

研究室タイプ	受電容量	基本料金
研究室 (大)	45kW	22,440 円
研究室 (小) IT 仕様	5kW	4,080 円
試作開発室	135kW	40,800 円

例①機械系 (大) の研究室で 1,000kWh を使用した場合

$$22,440 \text{ 円} + 21.8 \text{ 円} \times 1,000 \text{ kWh} = 44,240 \text{ 円}$$

例② I T 系の研究室で 400kWh を使用した場合

■入居に要する 費用・経費

$$4,080 \text{ 円} + 21.8 \text{ 円} \times 400\text{kWh} = 12,800 \text{ 円}$$

例③試作開発室の研究室で 1,000kWh を使用した場合

$$40,800 \text{ 円} + 21.8 \text{ 円} \times 1,000\text{kWh} = 62,600 \text{ 円}$$

(2) 水道使用料（税別）

使用量に応じて段階的な単価を設定し請求額を計算します。

水道使用料単価表

※2ヶ月の使用料です

使用水量 (m ³)	1～16	17～40	41～100	101～200
単価 (円)	362	417	481	586

例) 20 m³使用した場合、

$$16 \text{ m}^3 \times 362 \text{ 円} + 4 \text{ m}^3 \times 417 \text{ 円} = 7,460 \text{ 円}$$

※公共料金の変動があった場合は請求額の変更を行う場合もあります。

(3) ガス使用料（税込）

研究室内でガスを使用する場合、岡山ガス㈱と入居者との契約となり部屋別にメーターが設置されます。

ガス使用料単価表（岡山ガス、R5.6.1 現在）

使用量 (m ³)	0～10	11～25	26～100	101～
基本料金 (円)	927.30	1354.10	1640.10	2982.10
単価 (円)	266.04	223.36	211.92	198.50

例) 50 m³使用した場合

$$1,640.10 \text{ 円} + 50 \text{ m}^3 \times 211.92 \text{ 円} = 12,206 \text{ 円}$$

(4) 電話

研究室内への電話回線の敷設は、入居者と電話会社の契約となります。敷設工事及び使用料等は、入居者負担となります。

研究室内に標準設置している電話機は、支援スタッフとの連絡を主な用途とする、館内内線電話であり、外線通話はできません。

(5) インターネット回線

研究室内には無料で利用できるインターネット回線を提供しています。利用申請に応じて設定情報等を提供します。

グローバル IP アドレスが必要な場合など、独自にインターネット回線を敷設することも可能です。この場合、入居者と通信事業者又はサービス提供会社の契約となり、敷設工事及び使用料等は、入居者負担となります。

(6) テレビ受信

地上デジタル、BS の回線がパイプシャフト内に敷設されています。テレビを設置した場合、NHK との受信契約は入居者の個別対応となります。

■施設の利用

1. 施設の利用時間

(1) 開所日時

土・日曜日並びに祝日及び12月29日から翌年1月3日までの日を除く日の、午前9時から午後6時まで。

開所日時以外の時間は、正面入口（メインエントランス）は利用できませんので、入居者が入退所する際は、通用口を利用してください。

(2) 研究室等の利用時間

(1)の開所日及び開所時間に関わらず、入居者による研究室等の利用は、24時間365日、利用可能です。ただし、セキュリティ設備への入居者登録及び電子錠が必要となります。

2. アメニティ

(1) 交流サロン・共用室（無料）

会議や集会に利用できます。（開所日時以外利用についてはスタッフに相談してください。）

会議やプレゼンテーションに役立つ次の備品等が備えてあります。

使用に際しては予約が必要です。

①交流サロン（150 m²）

オーバルテーブル	11台
ワイヤリングガイド	11台
ミーティングチェアー	44脚
ホワイトボード	2台
講演台	1台

②共用室（20 m²、3室）

スタックテーブル	8台
ミーティングチェアー	24脚

③映像・音響設備

プレゼンテーション用スクリーン	1面
持ち運びスクリーン	1面
プロジェクター	1台
VHS-VTR	1台
MDデッキ	1台
ワイヤレスマイク	2本
85型モニター	1台
50型モニター	1台

(2) ミニショップ・自動販売機

エントランス棟1Fにおいてミニショップを運営しております。食品・日用雑貨の販売の他、以下のサービスが利用できます。

①コピーサービス（税込）

- ・モノクロ 10円／枚
- ・カラー 50円／枚（B4サイズまで）
80円／枚（A3サイズ）

■施設の利用

②プリントサービス（税込）

- ・ カラー 30円／枚（A4サイズ）
50円／枚（A3サイズ）

③宅配便取次ぎ（ミニショップ経由は 100 円割引）

- ④その他、インキュベーションセンター内の 3 か所に自動販売機を設置しています。

（3）清掃・ごみ処理

生活ごみの処理は無料です。岡山市の基準により分別し、各自でごみ置場に運んでください。

- ・粗大ごみ（机、椅子、タイヤ、電気製品（ポット等））の処分は有料です。処分する場合は、各自の責任で、直接処理業者に連絡して処分してください。
- ・有害廃棄物（薬品等の実験排水も含む。）は、法令等に則り、各自の責任で処分してください。希望により専門業者（有料）を紹介します。処分後に、処分状況が確認できる伝票の写しを支援スタッフに提出してください。

（4）駐車場（無料）

駐車場の利用は届出制ですので、希望する入居者は支援スタッフに申し出てください。

なお、入居者と外来の方の駐車区画を分けていますので、指定する区画に駐車してください。

駐車場内での事故、盗難等のトラブルについては、責任を負いかねますので、各自で対処してください。

3. その他

（1）研究室等の内装工事

内装の変更が必要な場合は、入居者負担により実施できます。支援スタッフと事前相談の上、内装管理責任者に許可申請書を提出してください。ただし、工事内容によっては、応じられない場合があります。

内装工事（備品の設置等を含む。）の設計・施工については、希望により専門業者を紹介します。

（2）研究室等の原状復旧

退居時には、入居者負担により原状復旧をしていただきます。内装を変更している場合は、標準仕様への復旧が必要です。

（3）資材機器の搬入について

エレベータは、定員 15 人、重量 1,000kg、間口 900mm までの運用となっております。

大型の資材機器を搬入する際には、支援スタッフに相談してください。

■施設利用上の 御注意

1. セキュリティ

研究室棟及び試作開発室棟は、入居者及びその関係者、その他あらかじめ許可を受けた方でないと入館できません。

(1) 防災管理

スタッフルームに警報装置が設置され、24 時間体制で警備を行っています。

(2) 入室管理

研究室棟及び各研究室等は、セキュリティレベルに応じて、カードリーダーや静脈認証装置を設置し、入室管理を行っています。

(3) 防犯管理

各所に設置された監視装置により、24 時間監視を行っております。異常が検知されますと、直ちに警備員が確認する体制をとっています。

2. 設備面での注意事項

(1) 電気設備

研究室等内における電気設備の改修・変更及び電気機器の新設・変更等を行う場合は、事前に支援スタッフに相談してください。

(2) 空調設備

研究室（試作開発室を除く。）には空冷ヒートポンプを設置しています。要望に応じ、研究室内に空調機を増設、又試作開発室に新設することができますので事前に支援スタッフに相談してください。

※環境衛生保持のため、原則として 2 か月ごとに空気環境測定を行っているため、研究室等内に立ち入る場合があります。

(3) 停電

停電対応として、非常灯、屋内消火栓ポンプ、メイン・支線ルーター室用に非常用電源を用意していますが、研究室等は非常用電源の対象外ですので、入居者の責任において停電時のバックアップ対策を講じてください。

また、設備点検保守のため、年 1 回の計画停電（例年 12 月に 2 時間程度）が行われます。

(4) 消火設備

各階に屋内消火栓又は消火器を設置しています。

(5) AED 設備

エントランス棟 1 階に AED（自動体外式除細動器）を設置しています。

3. 施設利用上の注意

(1) 喫煙

インキュベーションセンター内（研究室等内を含む。）は禁煙です。

喫煙は、エントランス棟 2 階の喫煙室を利用してください。

(2) 生活ごみの処理

①日常の生活ごみは、岡山市の基準により分別し、各自でゴミ置場に運んでください。

②粗大ごみ（机、椅子、タイヤ、電気製品（ポット等））の処分は有料です。

■施設利用上の 御注意

希望により専門業者を紹介します。

- ③有害廃棄物は（薬品等の実験排水も含む。）、法令等に則り、各自の責任で処分してください。希望により専門業者（有料）を紹介します。処分後に、処分状況が確認できる伝票の写しを支援スタッフに提出していただく場合があります。

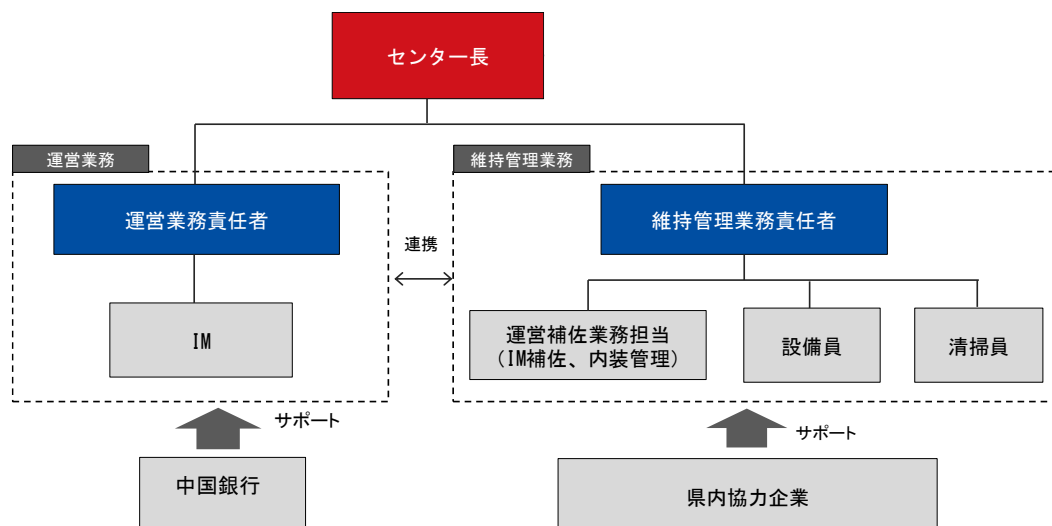
■運営体制 連絡先

1. 支援スタッフについて

専任のインキュベーションマネージャー（IM）のほか、入居者支援に必要なスタッフを次のとおり配置しています。

- (1) 常勤 IM（入居者募集・支援業務を担当）
- (2) IM 補佐員
- (3) 維持管理スタッフ

< 組織図 >



- (1) 毎年1月頃、入居許可更新申請の時、入居企業調査票の作成をお願い致します。これは入居企業の毎年の活動状況を把握するものなので、ご協力をお願い致します。
- (2) 利用の許可を受けた日から起算して3年を経過し、更に利用期間の延長を希望する場合には、利用等許可申請が必要となりますのでご注意ください。申請内容等によっては、利用期間の延長を受けられない場合があります。
- (4) ORIC 卒業後は、アンケートへの回答をお願い致します。これは卒業後の各社活動状況を把握するとともに、更なる支援に生かすためのものです。

■その他

岡山インキュベーションセンター入居までの流れ

第1ステップ（入居相談シート提出）

入居をお考えの方は「入居相談シート（資料－1）」を提出してください。IM が面談し、インキュベーションセンターの入居条件や環境基準に適合するか等を聞き取りします。

また、IM の知見に基づき、事業計画作成に向けたアドバイスもさせていただきます。

第2ステップ（事業計画書作成）

IM のサポートを受けながら、入居者審査会に向けて必要となる次の書類を作成してください。

- (1) 申請準備書（資料－2）
- (2) 事業計画書（資料－3）
- (3) 事業スケジュール、資金計画（資料－4）

第3ステップ（指定管理者への審査申請）

入居者審査会に向けて、IM のアドバイスに基づき、プランやプレゼンのブラッシュアップを行った上で、「利用等許可申請書（資料－4）」を提出ください。入居者審査会に諮ります。審査会は入居希望者の準備状況に応じて随時開催します

第4ステップ（入居者審査会）

入居者審査会に出席していただき、審査員の質疑応答も含めて 30 分程度のプレゼンテーションを行ってください。

提出書類やプレゼンテーションを基に審査を行い、入居の可否を連絡します。

最終ステップ

利用等許可証の交付を受けてください。

機器搬入や内装工事等の作業は支援スタッフの指示に従ってください。

岡山リサーチパークインキュベーションセンター入居相談シート

申込日： 年 月 日

相談者 氏名 生年月日	連絡先（部門）住所	
年 月 日生 才	TEL.	FAX.
入居希望企業又は個人の名称	連絡先（所属）住所	
	TEL.	FAX.
起業及びものづくり開発の動機・入居理由		
事業化する 商品、サービス		
販売戦略		
実験及び作業内容		
必要部屋数とタイプ	ORIC を知った経緯をお教え下さい	
・ 研究室・小（IT仕様） 室	1. ホームページから	
・ 研究室・大（化学仕様） 室	2. 紹介（誰から： ）	
・ 研究室・大（機械仕様） 室	3. パンフレット（入手先： ）	
・ 試作開発室 室	4. イベント（名称： ）	
合計 室を希望いたします。	5. その他（ ）	

岡山リサーチパーク・インキュベーション・センター

〒701-1221 岡山市北区芳賀 5303

TEL. 086-286-9116 FAX. 086-286-9117

URL: <http://www.oric.ne.jp> E-mail: info@oric.ne.jp

受付日 年 月 日

岡山リサーチパークインキュベーションセンター入居に係る 申請準備書

岡山リサーチパーク
インキュベーションセンター長 殿

氏名 _____ 印

（法人の場合は、法人名での申請）

連絡先（法人の場合は、担当者名を記載）

担当者名 _____

〒

住所： _____

電話番号： _____

e-Mail： _____

岡山リサーチパーク インキュベーションセンター（ORIC）への入居に関するビジネスプランを提出いたします。

ビジネスプランの提出にあたっては、ORIC の目的である「情報通信及びものづくりの分野における新技術及び新製品の開発並びに新規の創業を支援することにより、（岡山）県内産業の振興を図る」ことに貢献すること及び岡山県設置の施設に入居することを自覚し、それにふさわしい活動をいたします。

また、インキュベーションマネージャー（IM）と支援に必要な情報などを共有し、IM との協議や助言を参考に ORIC の目的の早期達成に努力いたします。

注意

- ・ 遵守していただく具体的項目は入居時にご説明します。
- ・ 上記の項目は、施設・設備の利用、各種優遇策の条件ですので、違反した場合は退去事由に該当する場合があります。

資料-3（事業計画書①）

1. 事業経営者の概要

経営者氏名		生年月日	
年 月 日生		才	
連絡先（所属）住所			
〒			
TEL.		FAX.	
【経営者略歴】			
		会社の経営経験 有（ 年）・無 有の場合役職（ ） 営業経験 有（ 年）・無	
【入居責任者略歴（経営者と異なる場合にのみ記入）】			
【経営理念・経営方針】			
【当該新事業・新開発テーマ】			
【経営体制：主要メンバーの氏名、役職、経歴、専門分野】			
【搬入予定設備】			
入居予定人数	入居者概要： 役割、専門分野		
名			

2. 会社の概要

企業名 (又は個人名)					
事業内容					
企業設立年月 (又は予定年月)					
資本金					
主要株主					
役員、従業員数					
入居理由					
URL					
E-mail アドレス					
売上損益計画	単位 千円	入居の前年度	初年度 (入居の年度)	第 2 年度	第 3 年度
企業全体の計画 を記入	売上高	()	()	()	()
既存企業が 新規事業を 行う場合	経常 利益	()	()	()	()
新規事業分を () に記入	人員	()	()	()	()
備考：既存企業は最近 3 年分の財務諸表を添付。					

3. 事業計画及びものづくり開発計画の概要

事業化テーマ	【入居時に取り組む開発・事業テーマの名称】
事業化する 商品、サービス	【事業化する商品・サービスの概要】 【事業化する商品、サービスの特徴、新規性・優位性】 【事業化する商品、サービスに関する自社の強み、弱み】 【事業化のリスク（想定からの変動可能性）とその対応策】 【競合する商品への対応：自社の優位性の根拠、差別化する戦略】 【権利化の状況（特許権、実用新案権、商標権、意匠権等）】
商品、サービスを取り巻く 市場の分析	【事業化する商品、サービスの市場規模（日本、世界での販売総金額等）】 【自社商品の市場での競合する状況、競合商品の強さ】 【自社商品を販売対象とする分野、人々、範囲】

資料-3（事業計画書③）

販売戦略	【販売ルート（直接、間接、協業等）、価格設定、販売促進策等】 【販売する上での、想定からの変動の可能性とその対応策】
事業化 マイルストーン	【事業化する上での大きなステップ】
協力者 ネットワーク	【資金調達、技術協力、共同開発、販売提携、協業等のパートナー】
投資計画	【設備投資計画】 【開発投資計画】
資金計画	【資金需要予測と調達手段（開発費、運転資金、その他）】 【想定商品を事業化するまでの期間の収入】 【当面の資金繰表（別紙記入）】

4. その他

株式公開についての考え方
当センターに期待する支援内容

資料・4（事業化スケジュール・利益計画、資金繰り表）

1. 事業化スケジュール

	年	初年度				2年度				3年度				
	月	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
例 製品設計														
要員計画														

補足： 製品開発、設備投資等での項目を設定し、区切りとなる時期を示してください。
 要員計画について、各期間の平均人員数を示してください。
 行は必要に応じて増減してください。

2. 利益計画

年 月		第 期	第 期	第 期
		年 月 期	年 月 期	年 月 期
①売上高				
②売上原価				
③売上総利益（①－②）		0	0	0
④人件費 ⑤旅費交通費 ⑥減価償却費 ⑦支払家賃等 ⑧その他経費	④人件費			
	⑤旅費交通費			
	⑥減価償却費			
	⑦支払家賃等			
	⑧その他経費			
⑨経費合計		0	0	0
⑩営業利益（③－⑨）		0	0	0
<営業外損益> ⑪支払利息等				
⑫経常利益（⑩＋⑪）		0	0	0

3. 資金繰り表

			初年度				2年度				3年度				
金額 (千円)		四半期 (QTR)	第1 QTR	第2 QTR	第3 QTR	第4 QTR	第1 QTR	第2 QTR	第3 QTR	第4 QTR	第1 QTR	第2 QTR	第3 QTR	第4 QTR	
経常収支	収入	売上現金収入													
		売掛金回収													
		その他収入													
	①収入計														
	支出	現金仕入れ													
		買掛金支払い													
		人件費													
		外注費													
		販管費													
		その他支出													
②支出計															
③経常収支差合計(①-②)															
経常外収支 (設備投資等)	収入	固定資産売却													
		その他収入													
	④収入計														
	支出	固定資産購入													
		投資支出													
		その他支出													
	⑤支出計														
⑥経常外収支差合計(④-⑤)															
財務収支	収入	借入金													
		資本金(増資)													
		その他収入													
	⑦収入計														
	支出	借入金返済													
		貸付金													
		その他支出													
⑧支出計															
⑨財務収支差合計(⑦-⑧)															
⑩全収支差合計(③+⑥+⑨)															
⑪前四半期繰越高															
⑫次四半期繰越高(⑩+⑪)															
備考															

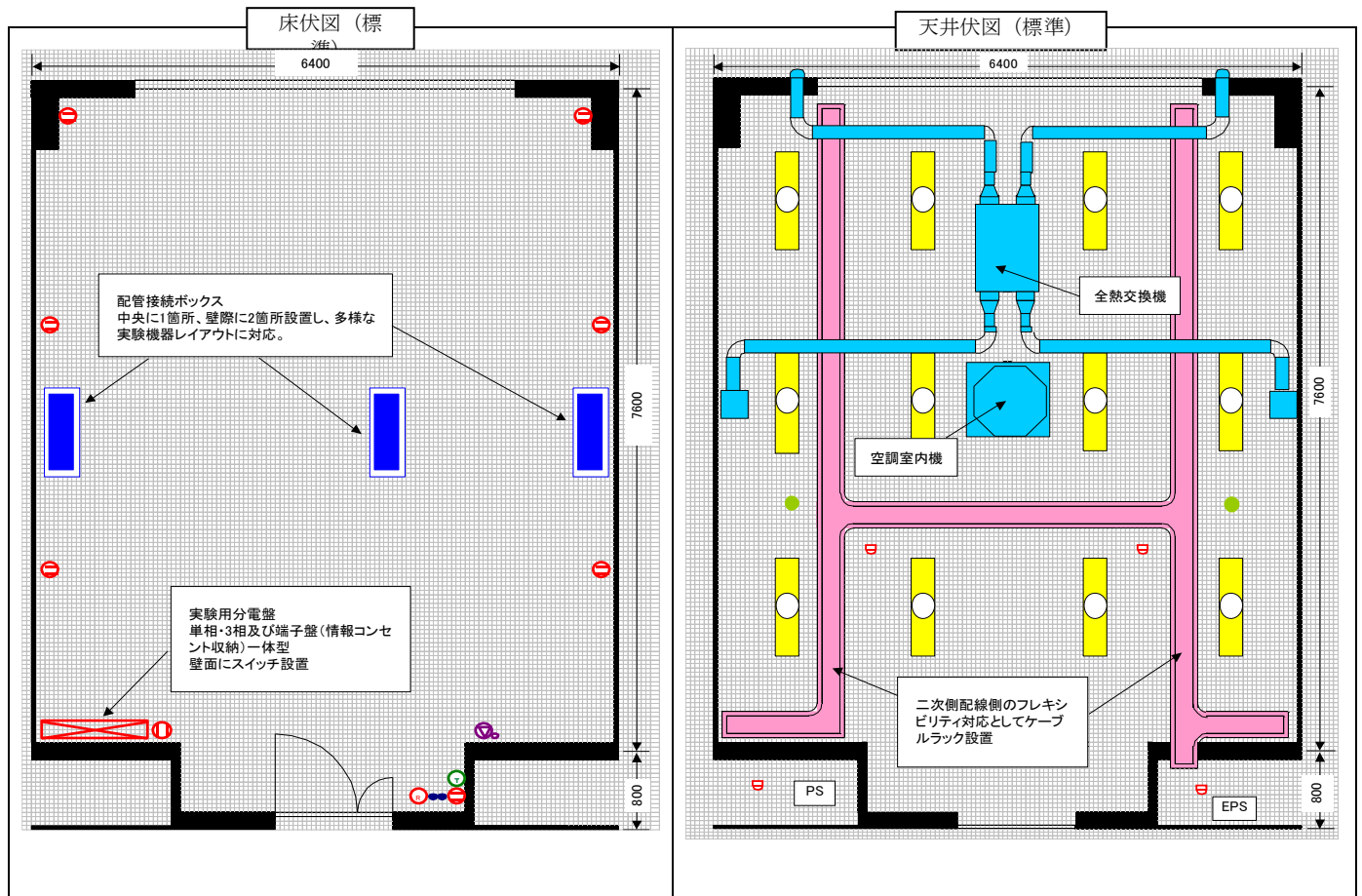
岡山リサーチパーク・インキュベーションセンター

施 設 の 概 要



研究室（機械系）15 部屋

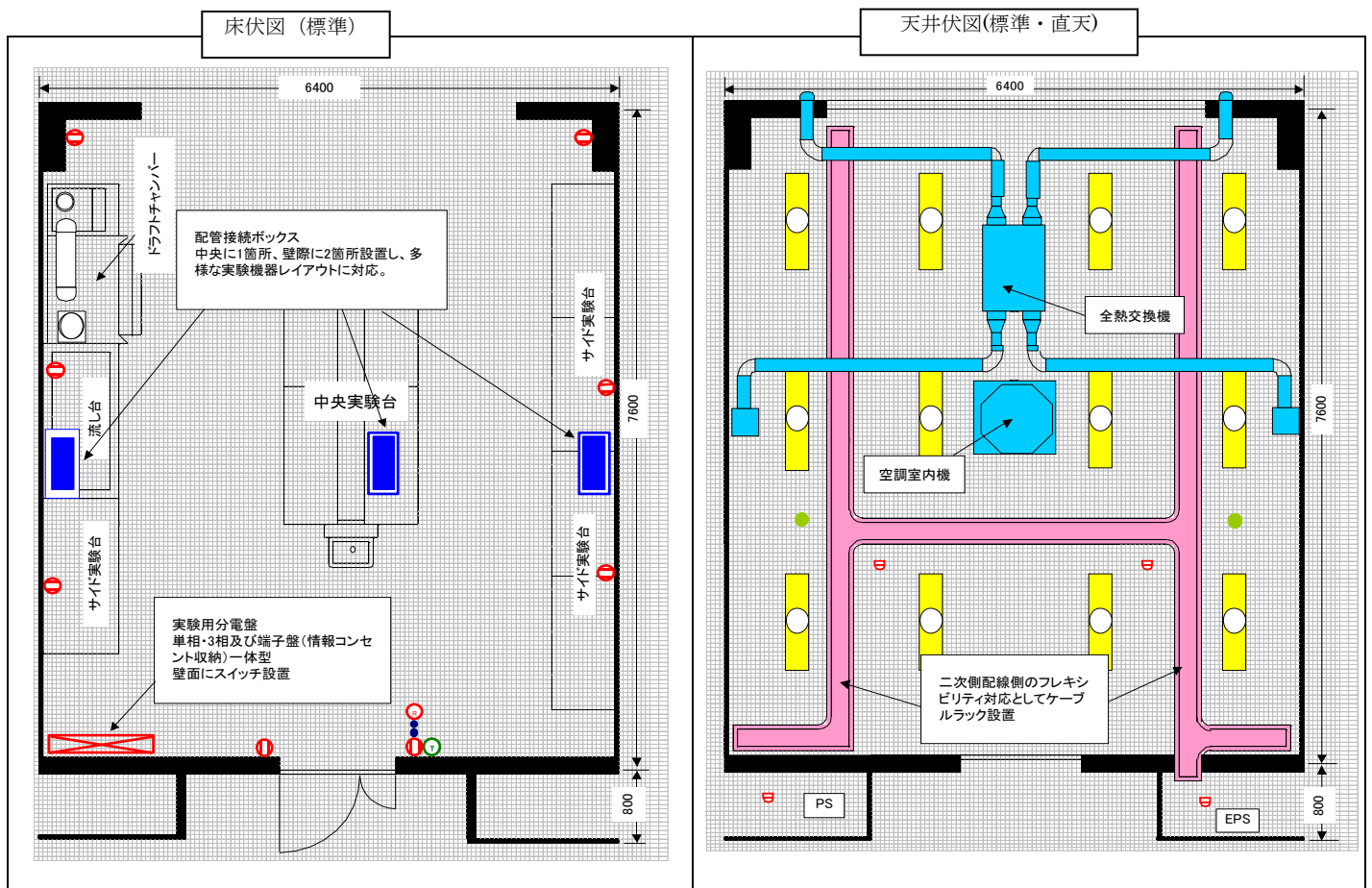
室諸元	室面積	約 50 m ²	
	天井高	直天（有効高さ 3.0m）	
仕上	床	ビニル床シート	
	壁	石膏ボード EP 塗装	
	天井	グラスウールマット表し（直天井）	
	床荷重	1,000kg/m ²	
電気	実験電力	単相 200-100V、100AT 三相 200V、75AT 実験用分電盤主幹まで装備	
情報		情報コンセント 2 口（公開系、内部系）	
空調換気	空調	天井カセット型空調機 1 台を標準設置。7.1 kW	
	換気	全熱交換器（加湿付）1 台を標準設置	
衛生	給水 排水 ガス	配管接続ボックスまでの配管	配管接続ボックス仕様 ステンレス製 500×200×165H×3ヶ所 ・ 給水 25A（バルブ止め） ・ 実験排水 50A（キャップ止め） ・ 都市ガス 20A（コック止め）



【凡例】 床伏せ図				【凡例】 天井伏せ図			
	コンセント		内線電話器		天井照明蛍光灯		差動式スポット感知器
	配管接続ボックス		分電盤（照明コンセント・実験用単相・実験用三相）		非常照明		天井照明
	空調機・空調換気扇連動スイッチ		弱電端子盤				
	スイッチ		壁付コンセント				

研究室（化学系）15 部屋

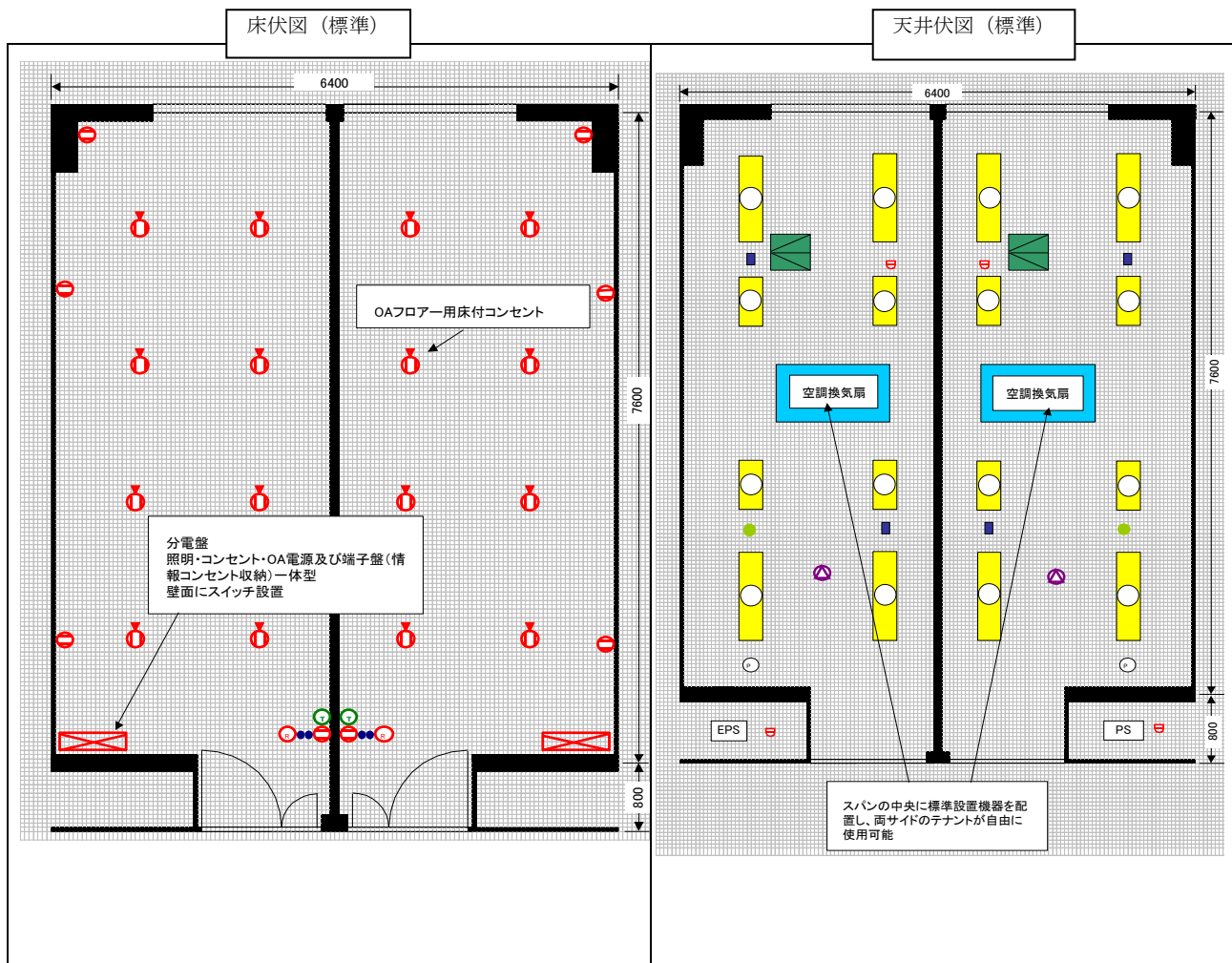
室諸元	室面積	約 50 m ²	
	天井高	直天（有効高さ 3.0m）、（天井仕様も有）	
仕上	床	ビニル床シート	
	壁	石膏ボード EP 塗装	
	天井	2 階：グラスウールマット表し（直天井）、3 階：化粧石膏ボード	
	床荷重	500kg/m ²	
電気	実験電力	単相 200－100V、100AT 三相 200V、75AT 実験用分電盤主幹まで装備	
情報		情報コンセント 2 口（公開系、内部系）	
空調換気	空調	天井カセット型空調機 1 台を標準設置。7.1 kW	
	換気	全熱交換器（加湿付）1 台を標準設置 1 スパン 6 箇所まで外壁を貫通して配管を行うことができます	
衛生	給水 排水 ガス	配管接続ボックスまでの配管	配管接続ボックス仕様 ステンレス製 500×200×165H×3 ヶ所 ・ 給水 25A（バルブ止め） ・ 実験排水 50A（キャップ止め） ・ 都市ガス 20A（コック止め）



注：床伏図にある中央実験台等の設備は装備されていません。本図では、標準配置されている配管接続ボックスを活用するイメージを伝えるために参考用に示してあります。

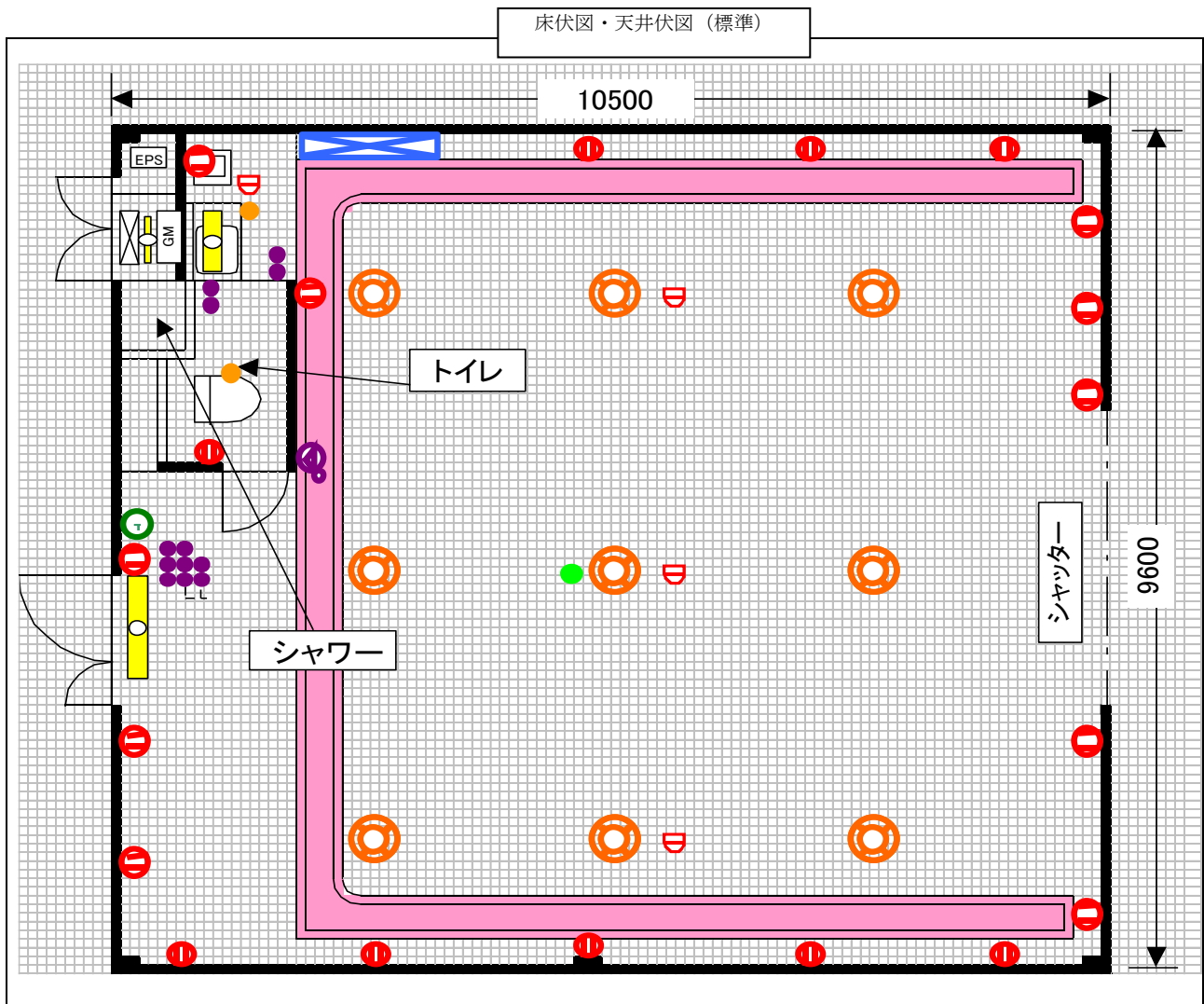
研究室（IT 系） 22 部屋

室諸元	室面積	約 25 m ²
	天井高	3.0m
仕上	床	OA フロア（H100）下地、タイルカーペット
	壁	石膏ボード EP 塗装
	天井	岩綿吸音板
	床荷重	500kg/m ²
電気	電力	単相 200-100V 30AT 分電盤からコンセントまでを装備
	照明	ルーバー付照明
情報		情報コンセント 2 口（公開系、内部系）
空調換気	空調	天井カセット型空調機 1 台を標準設置。4.5 k W
	換気	全熱交換器（加湿付）1 台を標準設置
衛生	給水 排水 ガス	PS 内プラグ止め



試作開発室 6 部屋

室諸元	室面積	約 100 m ²	
	天井高	直天（有効高さ 4.5m）	
仕上	床	塗床	
	壁	石膏ボード EP 塗装、一部外壁表し	
	天井	フェルト表し（直天井）	
	床荷重	2,000kg/m ²	
電気	実験電力	単相 200-100V 175AT 三相 200V 300AT 実験用分電盤主幹まで装備	
情報		情報コンセント 2 口（公開系、内部系）	
空調換気	換気	換気扇 2300.0m ³ /h	
衛生	給水 排水 ガス	便所・シャワー・流し台を装備	・ 実験用給水 32A （ピット内・バルブ止め） ・ 実験用排水 100A （ピット内・プラグ止め） ・ 都市ガス 32A （ピット内・バルブ止め）



岡山リサーチパーク インキュベーションセンター
大林 F・合人社・岡経研共同事業体
〒701-1221 岡山市北区芳賀 5303
TEL. 086-286-9116 FAX. 086-286-9117

岡山県産業労働部産業振興課
TEL. 086-226-7352